

輸送 アメリカ TTCI (運輸技術センター) のトップ交代

原題: Taking research to the next level
誌名: Railway Gazette International Vol.167 No.10 (2011-10) p32-34

10月7日に Lisa Stabler がアメリカの運輸技術センターの新社長に就任した。インタビューに「研究開発を次のレベルに進展させたい」と語った。



出典: Railway Gazette International

コロラド州ブエプロ郊外にある運輸技術センターは、13500ヘクタールの広さの中に5つの試験線、訓練施設、複数の研究室を有する。



出典: Railway Gazette International

Lisa Stabler: 2010年、運用と教育担当の副社長として TTCI に迎えられ、翌年7月に次期社長に指名される。デイトン大学で機械工学を修めた後 GM に就職し、20年間自動車業界に従事。1999年に BNSF 鉄道に転職し、品質と信頼性担当の副社長を務めた。

車両 クロアチアで3種類の新形式車両が試験中

原題: A trio of trains on trial
誌名: Railway Gazette International Vol.167 No.10 (2011-10) p55-58

クロアチア鉄道の旅客部門で新形式電車と気動車が試験されている。近郊用とローカル用の2種類の電車はともに4両編成の連接構造で、編成長は75mである。気動車は非接続の3両編成で編成長70.7mである。最高速度はすべて160km/hである。



出典: Railway Gazette International

TZV Gredelj社とKoncar社の共同製造による4両編成の新形式近郊電車のプロトタイプ



出典: Railway Gazette International

TZV Gredelj社の工場では製造中の3両編成のローカル用気動車



出典: Railway Gazette International

Koncar社製のローカル用新形式電車のプロトタイプ

施設 アルプスのゴッタルドトンネル北側抗口でも軌道工事が始まる

原題: Railway works start at the north portal
誌名: Railway Gazette International Vol.167 No.10 (2011-10) p75-80

10月1日時点で、アルプスを貫く57kmのゴッタルドトンネル建設は、完成まで残り1714日となった。



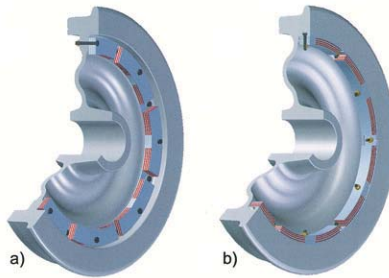
出典: Railway Gazette International

500mの長さおよびコンクリート列車の先頭はポンプ車。次位がトンネルに敷設するスラブ用の材料を混ぜ合わせる「Helvetia」と名付けられた重要な機械。

環境 鉄道車輪の走行騒音の吸収

原題: Dämpfung der Laufgeräusche bei Eisenbahnrädern
誌名: Eisenbahningenieur Vol.62 No.10 (2011-10) p48-52

車輪騒音吸収装置が、環境に優しい静かな鉄道運行に大いに貢献できる場合が多い。騒音吸収装置の効果を得るには、車輪質量に応じて、減衰質量が必要である。車輪騒音吸収装置の機能の向上により、安全かつ効率的に、持続可能な形で設計要件を満たすことが望まれる。



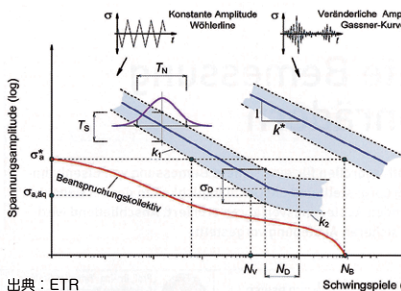
出典: Eisenbahningenieur

車輪に取り付けられた騒音吸収装置: a) 輪心に設けられた穴, b) 環状溝に固定されたボルト

車両 目的に合わせた鉄道車輪の寸法設計

原題: Praxisgerechte Bemessung von Eisenbahnrädern
誌名: ETR: Eisenbahntechnische Rundschau Vol.60 No.10 (2011-10) p41-47

機械的負荷の影響下で鉄道車輪の安全な寸法設計を左右する主要なパラメータと、既存の規定に基づく設計手順の問題点を論ずる。また、車輪設計の安全性を保証するために、運行の信頼性を評価する方法を提示する。



出典: ETR

運行時にかかる応力と疲労強度